

カヤの平等生物群集保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・北信森林管理署
所在地	長野県下水内郡栄村
面積	1,399.83ha
設定年	平成29年4月1日
保護林の概要 設定目的)	台倉山の東南斜面に広がるカヤの平一帯のブナ林は、典型的な日本海型ブナ植物群落である。また、烏甲山は、東、南斜面が切り立った断崖状を成し、赤色の岩肌が露出した特異な景観を呈しており、周囲に亜高山性針葉樹林が広がり山頂付近に高山植物群落が分布している。これらの生物群集を有する森林の保護・管理を図る。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和元年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査、森林の踏査調査
調査手法	ブナ林に設定された調査プロットにおいて、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。保護林内を踏査し、樹木・下層植生の生育状況や病害虫・鳥獣害・気象害の発生状況を把握。
結果概要	過年度調査結果と比較して、大きな変化は見られず、保護林の健全性は維持されていると判断された。ただし、ニホンジカのものと思われる糞が確認されており、現状では植生被害は見られないものの、生息密度が増加するにつれ植生被害が顕在化する恐れがあるため、今後もモニタリングの継続が必要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。